

その42 牧野

(平成15年2月1日号—第223号)

京阪牧野駅の周辺には、牧野と名のつく町名が多くあります。牧野北町、牧野下島町、牧野本町、牧野阪、西牧野、東牧野町です。今回は牧野を紹介します。

明治22年の町村制施行に先立ち、町村合併が進められ、養父・上島・下島・宇山・坂・小倉・禁野・磯島・渚の9カ村が合併し、牧野村が誕生しました。新しい村名は、この一帯が牧郷だったことから名づけられました。平安時代、楠葉を含めたこのあたりは、摂関家の楠葉牧で、牛馬が放牧されていました。

牧野村は、昭和10年に隣村の招提村と合併して殿山町になり、さらに同13年に枚方町と合併しました。

昭和の初め^{*1}、大阪女子高等医学専門学校(現関西医科大学)が宇山に開校し、大阪歯科医学専門学校(現大阪歯科大学)が坂に、大阪美術学校が渚に、それぞれ移転してきたため、牧野は一躍学校の街となりました。

牧野の中心に位置するのが、牧野駅から東へ約500メートルにある片埜神社です。社伝によると、野見宿禰が須佐之男命[すさのおのみこと]を祀ったのが始まりとい



71 片埜神社南門(牧野阪2丁目)

います。現在の本殿は、慶長7年(1602)に豊臣秀頼が再興したもので、桃山時代の華麗な建築様式を今に伝え、国の重要文化財に指定されています。

また、その東方では古代の屋瓦類がよく発見されていましたが、最近の発掘調査で、飛鳥時代創建の九頭神廃寺の伽藍が明らかになりつつあります^{*2}。

みなさんも、古い歴史を持つ牧野を散策してみてもはいかがでしょうか。



72 九頭神廃寺屋瓦出土状況

^{*1} 昭和3年、大阪女子高等医学専門学校開校・大阪歯科医学専門学校移転。昭和4年、大阪美術学校移転。

^{*2} 府営枚方牧野住宅建てかえに先立つ発掘調査で、築地[ついで]により区画された倉庫群(倉垣院[そうえんいん])や幡・幢などを掲げる施設(宝幢[ほうどう]遺構)などが検出された。古代寺院の付属院地として稀有な遺構群であるため、平成19年4月に市の史跡に指定された。